

神戸中学校だより

目指す学校像:『明日も行きたい・明日も通わせたい・明日も協力したい学校』

2学期が始まりました！今学期もよろしくお願いします



45日間の夏休みも終わり、本日より2学期が始まりました。

本日の始業式では、みなさんの元気な姿を見ることができてとてもうれしかったです。この夏休み期間に命にかかわるような大きな事故やトラブル

の連絡もなく、みなさんが命を大切に過ごしてくれたのだと感謝しています。

本日の始業式では、昨年と同様ですが、2学期の大切さを伝えました。私自身中学校の教員を経験してきて思っていることは、“いかに2学期を無事に過ごすか”です。1年生にとっては、入学して緊張感のあった1学期。しかし2学期になると学校生活に慣れてきて、その“慣れ”から生活の緩みが起こりがちになります。これからも入学した頃の気持ちを忘れないでください。『初心忘れるべからず』です。2年生は、新しい学年となって希望や思いに満ちた1学期でしたが、ここにも“慣れ”ということから気持ちに緩みが起こりがちです。また部活動では、自分たちが中心となつての運営が始まっていると思います。今後、地域移行もありこれまでとは違うことも出てくるかもしれませんが、気持ちを緩めることなく、下級生から尊敬される、目標となるような先輩をめざすことを大切にしてください。3年生は、この2学期の時間の過ごし方を大切にしてほしいです。今学期が大切にできなかったら3学期も大切にできません。もっと言えば、中学校を卒業してからの進路先での生活の様子にも影響があると思っています。なので2学期は、卒業後の新たなステージでの準備期間でもあると思ってほしいです。その中で気を付けてほしいことは、「時間を大切にする」ということです。これまでは、授業を終えてから部活動があった生活でしたが、これからはその時間もあなたのものです。自分が使える時間がふえるということです。計画的に大切に使う習慣を早い時期に確立してほしいです。また、今学期には進路選択を明確にしなければなりません。進学なのか、就職なのか。進学ならばどの高校のどの科、コースを目指すのか。進路を選択するというのも2学期なのです。

このようなことから、2学期の過ごし方というのは、中学校生活の中でとても重要なのです。有意義な2学期になるよう我々教職員も全力で取り組んでいきますので、ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。

お詫び①: 学校通信前号で、生徒の名前のふりがなに以下の間違いがありました。申し訳ありません。
(誤) ⇒ (正) [剣道男子] (誤) ⇒ (正) [柔道男子]

お詫び②: 学校通信前号で、中体連大会の結果を掲載しなかった競技等がありましたので裏面に掲載いたしました重ね重ね申し訳ありませんでした。

ちゅうたいれん ぜんこくそうたい けん とうかいそうたい ついか けっか
中体連 全国総体および県・東海総体(追加)結果

ぜんこくそうたい
【全国総体】

きょうぎめい なまえ 競技名および名前	けん そうたい 県 総体	とうかいそうたい 東海総体	ぜんこくそうたい 全国総体
けんどうぶ だんし 剣道部 男子	ゆう しょう 優 勝	ゆう しょう 優 勝	よせんはいたい 予選敗退 (グループ戦2位)
けんどうぶ じょし 剣道部 女子	ゆう しょう 優 勝	じゅんゆうしょう 準優勝	ベスト8
けんどうぶ だんし こじん 剣道部 男子 個人	ゆう しょう 優 勝	かいせんはいたい 2回戦敗退	かいせんはいたい 4回戦敗退 (ベスト16)
けんどうぶ だんし こじん 剣道部 男子 個人	じゅんゆうしょう 準優勝	ベスト8	かいせんはいたい 1回戦敗退
けんどうぶ じょし こじん 剣道部 女子 個人	ゆう しょう 優 勝	かいせんはいたい 1回戦敗退	かいせんはいたい 2回戦敗退
けんどうぶ じょし こじん 剣道部 女子 個人	じゅんゆうしょう 準優勝	だい 3 い 第 3 位	かいせんはいたい 2回戦敗退
りくじょうぶ だんし 陸上部 男子 110mH	だい い 第4位 つうしんだいかい (通信大会)	だい 4 い 第 4 位	だい 7 い にゅうしょう 第 7 位 入賞

けんたいかい つうしんりくじょう
【県大会(通信陸上)】

きょうぎめい なまえ 競技名・名前	けんたいかい つうしんりくじょう 県大会(通信陸上)
りくじょうぶ だんし 陸上部 男子 3000m	だい い 第 1 4 位
りくじょうぶ じょし そうはばとび 陸上部 女子 走幅跳	だい い 第 7 位
りくじょうぶ じょし そうはばとび 陸上部 女子 走幅跳	だい い 第 1 0 位

すずかし ぎかい
「鈴鹿市こども議会」

8月21日(金)に“鈴鹿市こども議会”が行われました。これは、鈴鹿市の小学校14校の6年生児童、中学校5校の3年生生徒の計19名の児童生徒が“こども議員”として市役所の議場にて、よりよい鈴鹿市にするために提案を行いました。本校からは、3年生の〈 〉さんが参加してくれました。伊野さんからは、『誰もが安心して利用できる交流の場を設けること』の提案がありました。とても堂々として議員さんからの雰囲気です。その様子はとても頼もしかったです。この提案に末松則子市長から「市の施設だけでなく、地域や企業などが協力して、みなさんが安心して居場所を増やしていくことも必要」との考えを示し、『7月から始まった“すずっこオンライン意見箱”に投稿された意見を参考に、居場所づくりを進めるよう取り組む』と答弁していただきました。〈 〉さんの提案から、このことが実現されより素晴らしい鈴鹿市になることを楽しみにしています。